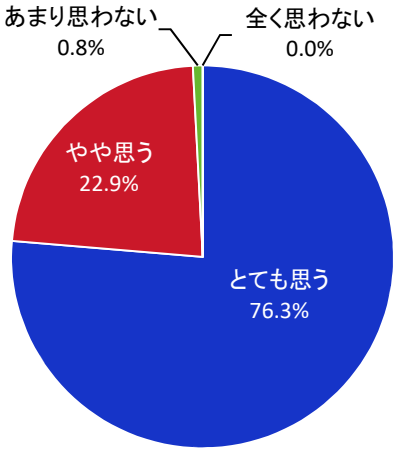
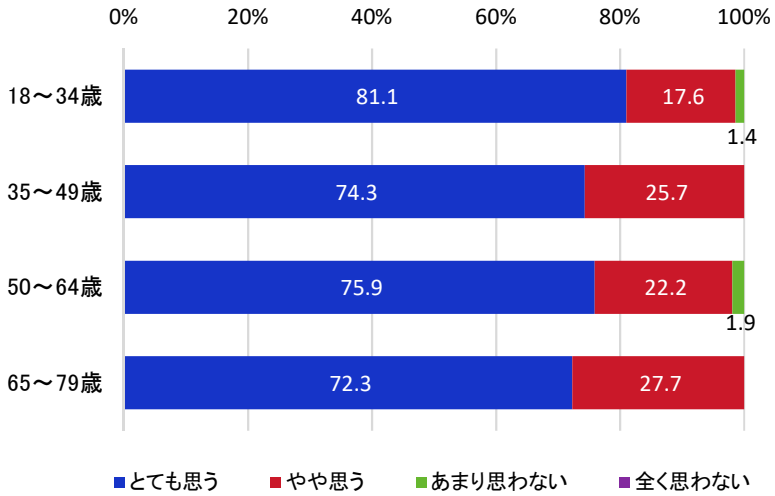
＜子供の読書について＞

※設問内の「読書」の媒体は紙・電子を問いません。

■問1　子供（0～18歳）の成長や発達に読書が必要だと思うか　（n＝245）





- 子供（0～18歳）の成長や発達に読書が必要だとについては、全体では『思う』（「とても思う」と「やや思う」の合計）が99.2%となっています。
- 世代別にみても、全世代において『思う』が『思わない』（「あまり思わない」と「全く思わない」の合計）を大幅に上回っています。

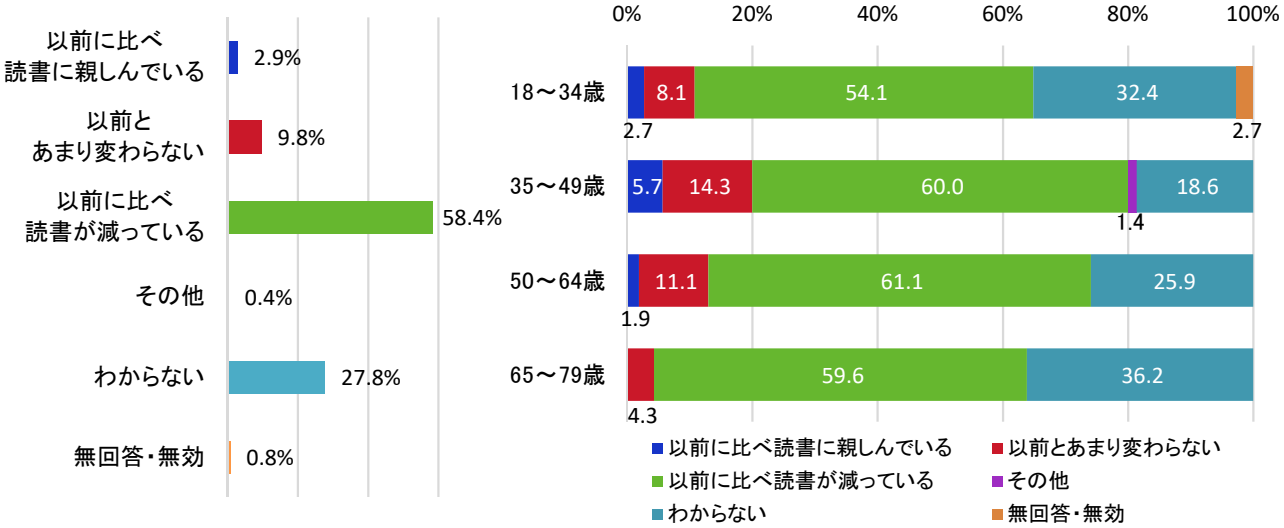
■問2　読書が必要だと思う理由　（n＝243　複数回答）

（問1で「とても思う」「やや思う」と回答した人）

	全体	18～34歳	35～49歳	50～64歳	65～79歳
人生を前向きに捉える力を育む	23.5%	21.9	17.1	17.0	42.6
共感力やコミュニケーション能力を育む	37.9%	32.9	48.6	28.3	40.4
知的好奇心を育み、新たな知識獲得につながる	73.7%	72.6	77.1	64.2	80.9
読解力や表現力を育む	85.2%	89.0	88.6	84.9	74.5
思考力や想像力を育む	81.5%	80.8	84.3	81.1	78.7
その他	2.9%	6.8	1.4	1.9	-

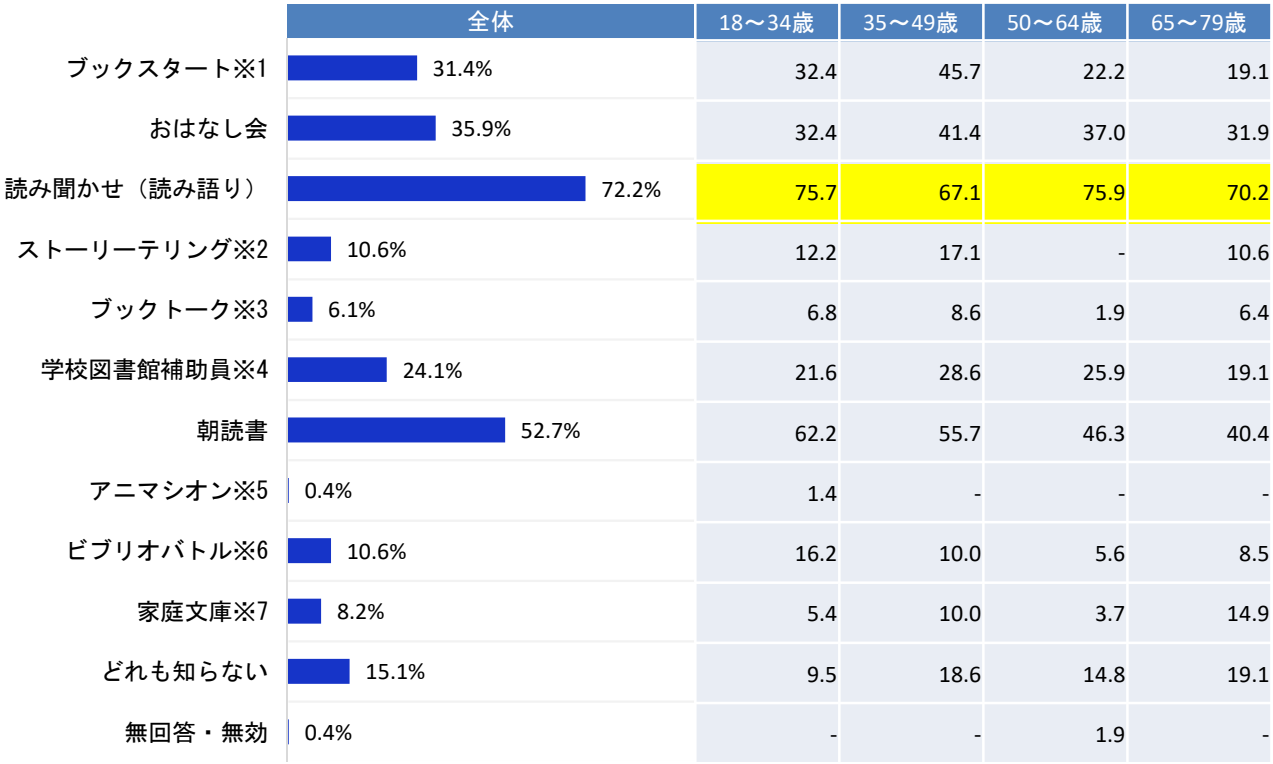
- 読書が必要だと思う理由については、全体では「読解力や表現力を育む」が85.2%と最も多く、次いで「思考力や想像力を育む」が81.5%となっています。
- 世代別にみると、18～34歳と35～49歳と50～64歳は「読解力や表現力を育む」が、65～79歳は「知的好奇心を育み、新たな知識獲得につながる」が最も多くなっています。

■問4　ここ5年ほどの子供の読書傾向で感じること　（n＝245）



- ここ5年ほどの子供の読書傾向で感じることについては、全体では「以前に比べ読書が減っている」が58.4%と最も多くなっています。
- 世代別にみても、全世代において「以前に比べ読書が減っている」が最も多くなっています。

■問5　子供が読書に親しむための取り組みで知っているもの　（n=245　複数回答）



	全体	18～34歳	35～49歳	50～64歳	65～79歳
ブックスタート※1	31.4%	32.4	45.7	22.2	19.1
おはなし会	35.9%	32.4	41.4	37.0	31.9
読み聞かせ（読み語り）	72.2%	75.7	67.1	75.9	70.2
ストーリーテリング※2	10.6%	12.2	17.1	-	10.6
ブックトーク※3	6.1%	6.8	8.6	1.9	6.4
学校図書館補助員※4	24.1%	21.6	28.6	25.9	19.1
朝読書	52.7%	62.2	55.7	46.3	40.4
アニマシオン※5	0.4%	1.4	-	-	-
ビブリオバトル※6	10.6%	16.2	10.0	5.6	8.5
家庭文庫※7	8.2%	5.4	10.0	3.7	14.9
どれも知らない	15.1%	9.5	18.6	14.8	19.1
無回答・無効	0.4%	-	-	1.9	-

- 子供が読書に親しむための取り組みで知っているものについては、全体では「読み聞かせ（読み語り）」が72.2%と最も多く、次いで「朝読書」が52.7%となっています。
- 世代別にみても、全世代において「読み聞かせ（読み語り）」が最も多くなっています。

※1　ブックスタート：赤ちゃんと保護者に絵本や子育て情報が入ったブックスタートパックを手渡し、絵本を通じて心触れ合うひとときを持つきかっけをつくる活動
※2　ストーリーテリング：テキストを見ずに昔ばなしなどを語ること
※3　ブックトーク：テーマに沿って選んだ複数の本を、興味が沸くように紹介すること
※4　学校図書館補助員：学校図書館の整備および運営の補助のために、浜松市が独自に配置している担当者
※5　アニマシオン：ゲーム的な手法を通して、子供たちに本の内容に興味を持たせ、物語の世界に引き込むことをねらいとした取り組み
※6　ビブリオバトル：参加者が本の紹介をし合い、ディスカッションを行った後、投票により一番読みたいと思った本を決める取り組み
※7　家庭文庫：地域の子供たちのために自宅などを解放し、所有している本の貸し出しを行う私設図書館

■問6　子供が読書に親しむために必要だと思う環境や取り組み　（n＝245　複数回答）

	全体	18～34歳	35～49歳	50～64歳	65～79歳
家庭での保護者からの働きかけ	56.3%	47.3	57.1	57.4	68.1
公共図書館の整備	35.5%	39.2	41.4	27.8	29.8
学校での読書環境の整備	59.2%	51.4	65.7	61.1	59.6
地域で本に親しめる環境の整備	24.1%	28.4	24.3	20.4	21.3
保育園、幼稚園など園文庫の充実	43.3%	44.6	41.4	42.6	44.7
電子図書を自由に閲覧できる環境	25.7%	32.4	25.7	24.1	17.0
その他	2.4%	2.7	4.3	1.9	-
わからない・特にない	3.3%	1.4	2.9	1.9	8.5
無回答・無効	0.4%	-	-	1.9	-

- 子供が読書に親しむために必要だと思う環境や取り組みについては、全体では「学校での読書環境の整備」が59.2%と最も多く、次いで「家庭での保護者からの働きかけ」が56.3%となっています。
- 世代別にみると、18～34歳と35～49歳と50～64歳は「学校での読書環境の整備」が、65～79歳は「家庭での保護者からの働きかけ」が最も多くなっています。

■問7　家庭において必要だと思う働きかけ　（n＝138　複数回答）

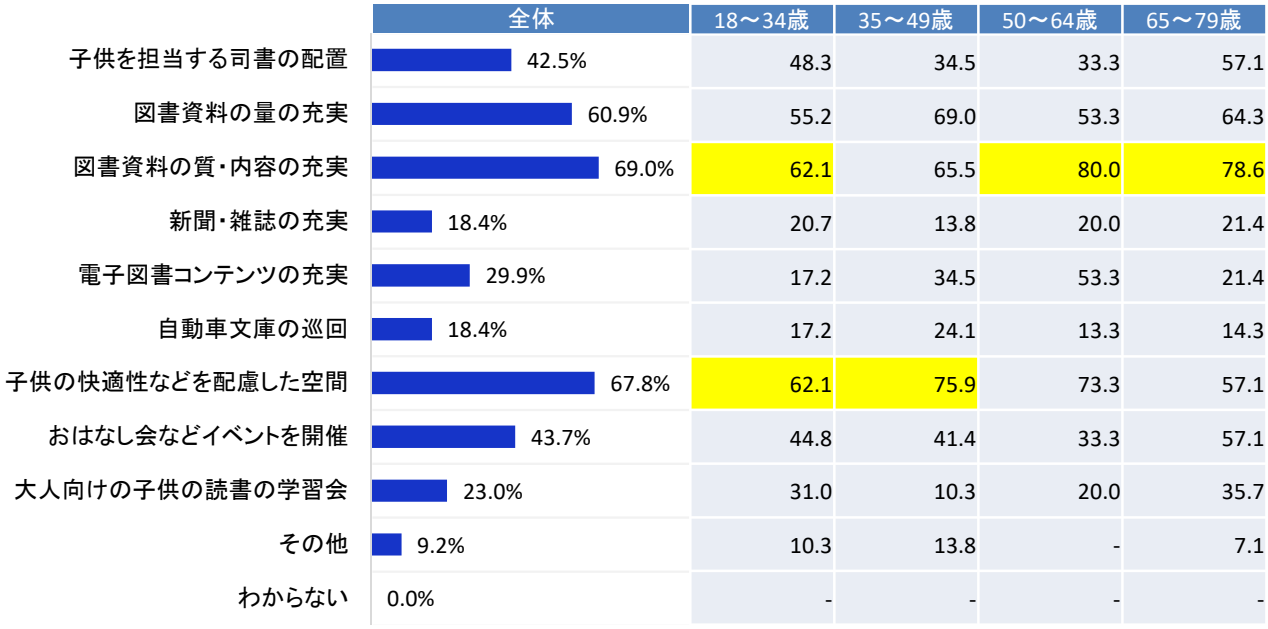
（問6で「家庭における保護者からの働きかけ」と回答した人）

	全体	18～34歳	35～49歳	50～64歳	65～79歳
幼少期の絵本や児童書などの読み聞かせ	92.8%	85.7	90.0	96.8	100.0
子供と一緒に図書館や書店で本に親しむ	80.4%	82.9	82.5	87.1	68.8
絵本や児童書が身近にある環境をつくる	63.0%	71.4	60.0	58.1	62.5
保護者が読書をしている姿を見せる	57.2%	65.7	55.0	54.8	53.1
子供の発達段階に合わせた本を手渡す	37.7%	54.3	35.0	22.6	37.5
子供が音読する機会を設ける	28.3%	31.4	30.0	22.6	28.1
その他	2.2%	5.7	2.5	-	-
わからない	0.0%	-	-	-	-

- 家庭において必要だと思う働きかけについては、全体では「幼少期の絵本や児童書などの読み聞かせ」が92.8%と最も多く、次いで「子供と一緒に図書館や書店で本に親しむ」が80.4%となっています。
- 世代別にみても、全世代において「幼少期の絵本や児童書などの読み聞かせ」が最も多くなっています。

■問8　公共図書館において必要だと思う環境整備　（n＝87　複数回答）

（問6で「公共図書館の整備」と回答した人）

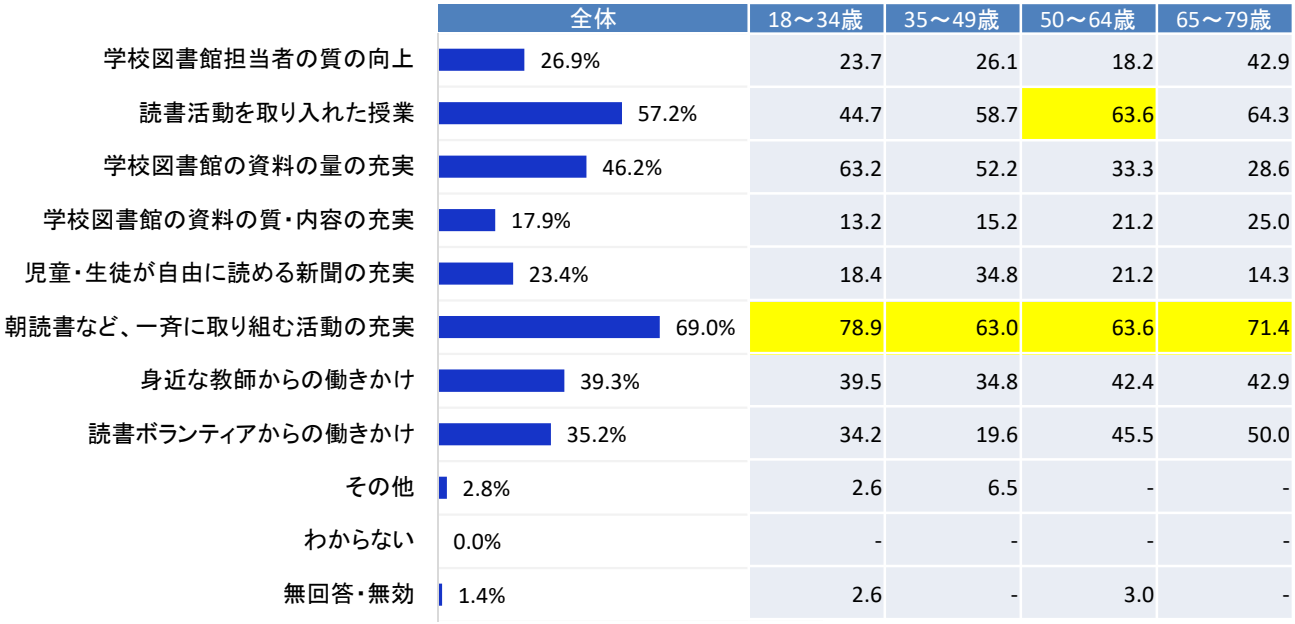


	全体	18～34歳	35～49歳	50～64歳	65～79歳
子供を担当する司書の配置	42.5%	48.3	34.5	33.3	57.1
図書資料の量の充実	60.9%	55.2	69.0	53.3	64.3
図書資料の質・内容の充実	69.0%	62.1	65.5	80.0	78.6
新聞・雑誌の充実	18.4%	20.7	13.8	20.0	21.4
電子図書コンテンツの充実	29.9%	17.2	34.5	53.3	21.4
自動車文庫の巡回	18.4%	17.2	24.1	13.3	14.3
子供の快適性などを配慮した空間	67.8%	62.1	75.9	73.3	57.1
おはなし会などイベントを開催	43.7%	44.8	41.4	33.3	57.1
大人向けの子供の読書の学習会	23.0%	31.0	10.3	20.0	35.7
その他	9.2%	10.3	13.8	-	7.1
わからない	0.0%	-	-	-	-

- 公立図書館において必要だと思う環境整備については、全体では「図書資料の質・内容の充実」が69.0%と最も多く、次いで「子供の快適性などを配慮した空間」が67.8%となっています。
- 世代別にみると、18～34歳と50～64歳と65～79歳は「図書資料の質・内容の充実」が、35～49歳は「子供の快適性などを配慮した空間」が最も多くなっています（18～34歳は「子供の快適性などを配慮した空間」も同率）。

■問9　学校において必要だと思う環境整備　（n=145　複数回答）

（問6で「学校における読書環境の整備」と回答した人）

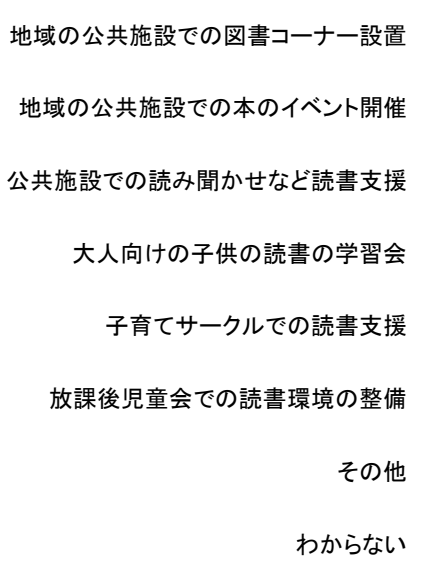


	全体	18～34歳	35～49歳	50～64歳	65～79歳
学校図書館担当者の質の向上	26.9%	23.7	26.1	18.2	42.9
読書活動を取り入れた授業	57.2%	44.7	58.7	63.6	64.3
学校図書館の資料の量の充実	46.2%	63.2	52.2	33.3	28.6
学校図書館の資料の質・内容の充実	17.9%	13.2	15.2	21.2	25.0
児童・生徒が自由に読める新聞の充実	23.4%	18.4	34.8	21.2	14.3
朝読書など、一斉に取り組む活動の充実	69.0%	78.9	63.0	63.6	71.4
身近な教師からの働きかけ	39.3%	39.5	34.8	42.4	42.9
読書ボランティアからの働きかけ	35.2%	34.2	19.6	45.5	50.0
その他	2.8%	2.6	6.5	-	-
わからない	0.0%	-	-	-	-
無回答・無効	1.4%	2.6	-	3.0	-

- 学校において必要だと思う環境整備については、全体では「朝読書など、一斉に取り組む活動の充実」が69.0%と最も多く、次いで「読書活動を取り入れた授業」が57.2%となっています。
- 世代別にみても、全世代において「朝読書など、一斉に取り組む活動の充実」が最も多くなっています（50～64歳は「読書活動を取り入れた授業」も同率）。

■問10　地域において必要だと思う環境整備　（n＝59　複数回答）

（問6で「家庭文庫や公共施設など地域で本に親しめる環境の整備」と回答した人）



	全体	18～34歳	35～49歳	50～64歳	65～79歳
地域の公共施設での図書コーナー設置	79.7%	66.7	100.0	81.8	70.0
地域の公共施設での本のイベント開催	54.2%	61.9	52.9	54.5	40.0
公共施設での読み聞かせなど読書支援	37.3%	47.6	35.3	27.3	30.0
大人向けの子供の読書の学習会	33.9%	28.6	23.5	54.5	40.0
子育てサークルでの読書支援	39.0%	28.6	41.2	45.5	50.0
放課後児童会での読書環境の整備	52.5%	42.9	52.9	54.5	70.0
その他	3.4%	-	11.8	-	-
わからない	5.1%	9.5	-	9.1	-

- 地域において必要だと思う環境整備については、全体では「地域の公共施設での図書コーナー設置」が79.7%と最も多くなっています。
- 世代別にみても、全世代において「地域の公共施設での図書コーナー設置」が最も多くなっています。